

かけはし



平成25年度学校だより
大府市立共和西小学校

26年2月19日号

校長の巻

おめでとうございます。

小学校管楽器アンサンブルコンテスト知多地区大会に出場の2チーム、両者共に金賞受賞です。曲は、「ミッキーマウスマーチ」と「ハピネス」。

担当の先生は、時間がない中、ご自分もちろん指導されるけれど、子どもたちの力を信じて、それぞれグループの子どもたちに、ミーティングの主導権を渡しました。自分たちで曲を完成に近づけてきた、という誇りがもてる手法を取り入れて、子どもたちを導いてきたのです。

なかなかまとまっていけない時期もありました。音が思うように合わず、一人一人の心のもちようが心配の日々もありました。でも、最後の最後の練習の日まであきらめず、練習を重ねてきたことが、よい結果をもたらしたのです。

コンテスト当日、音楽は、気持ち良い調べとなって私の耳に届いてきました。聞く者が心地よく感じる、これは、文字通り、息が合った演奏だったからです。曲の調べに乗って、演奏者が音を楽しんで奏でていたからです。「吹奏楽なら任せろ」と自他共に認める教頭先生も、本番のときの演奏が最高だった、と言っていました。

コンテスト当日の、2月8日は雪の降る寒い日でしたが、会場の中は、子どもたちの熱気で、ホットなムードいっぱいでした。出場は41組。他のチームの曲に耳を傾ける姿勢もとてもよく、音楽を心から楽しんでいる気持ちが伝わってきました。

当日、寒い中、応援に駆けつけてくださった保護者の皆様に、厚くお礼申し上げます。



写真は、2月3日に、朝礼で、全校児童の前で演奏したときのものです。

体全体をスイングさせての演奏。大きな楽器から出る迫力のある音。かっこよくリズムを刻むドラム。

こういうときの演奏を聴いて、金管バンドクラブに憧れ、「金管バンドクラブに入りたい。」と希望する子たちが、毎年たくさんいます。

練習は大変ですが、子どもたちは、やり遂げた後の爽快感をしっかりと味わったことでしょう。

おめでとう 受賞



小学校管楽器アンサンブルコンテスト
知多地区大会

金賞

共和西小Aチーム

6年 鈴木優那, 木下阿夕
渡邊真里菜, 天野莉恵瑠
安藤志野, 深谷知花
有木志織, 赤星千奈
5年 深谷友月, 山口萌花

共和西小Bチーム

6年 川田実侑, 佐々木汐里
盛来実, 竹本千紗
山口真央, 小野原小雪
5年 倉田紗弓
4年 横山凜

ありがとうございます パトロール隊の皆様



お礼の言葉を述べる児童会長
と
感謝の花束を贈る代表児童

2月17日は、日頃お世話になっているパトロール隊の方たちに感謝の会を開きました。隊長さんのお言葉の中で、挨拶の大切さ、自分の身は自分で守ることの大切さを教えていただきました。子どもたちのために、無償の好意で見守ってくださっていることに、ただ、ただ、感謝申し上げます。これからもよろしくお願いたします。

パトロール隊は、共和西自治区の方たち、木の山見守り隊、婦人会の方たちです。

学校は、何と云っても授業が勝負。子どもたちと先生の日常の授業風景をお伝えするコーナーです。

2年生の生活科もいよいよ最後の単元。「ひろがれ わたし」という単元です。今までの自分を振り返り、自分の良さや可能性を見つめます。そのスタートの時間。2年1組長谷川学級では、今までの自分を振り返っています。

子どもたちが、園での運動会や発表会、小学校での事など、今までの出来事を次々に発表します。

その後、「自分が生まれてから今まで、どんなことがあったのか、それを調べてまとめることをします。まず、2年生になってできるようになったことを書きましょう。」という活動。



「ぼく・わたしのせい長記録に、まとめていくんだね。」

わずか5分ほどの間に、どの子も、記録用紙に次々と書いていきます。その一部を紹介します。(原文は平仮名が多いので、読みやすいように、漢字に変えています。)

- ・雲梯の2段飛ばしができるようになった。
- ・本が速く読めるようになった。
- ・はじめて国語が好きになった。
- ・勉強が難しくなってきたけど、難しい勉強だって、頭に入ってくるようになりました。
- ・漢字がいっぱい書けるようになりました。
- ・1年生のときより、漢字を丁寧に書けるようになりました。
- ・給食がいっぱい食べられるようになった。
- ・国語で文章が長く書けたのが嬉しかった。
- ・たくさんの人の前でしゃべることが1年生のときより好きになりました。

1年生のときは、鉄棒ができなかったけれど、練習を積み重ねて、できるようになりました。

自分を見つめる目の確かさ、はきはきとした発表ぶりに、びっくりしました。

成長記録の出来上がりが楽しみです。